安全データシート

according to JIS Z 7523:2012

Stainless Steel Spray

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	:	Stainless Steel Spray
製品コード	:	111000
供給者の会社名称	:	WEICON GmbH & Co. KG Königsberger Str. 255 48157 Münster Germany Phone: +49 251 93220 Fax: +49(0)251 / 9322 - 244 Internet: www.weicon.de
本SDS担当者の電子メールアドレス	:	msds@weicon.de
緊急電話番号:	:	TRANSPORT / EMERGENCY CONTACT (24h): Tel: +44 1865 407333 (English) Osaka Poison Information Center: 072-727-2499 (24 hours)

推奨用途及び使用上制限

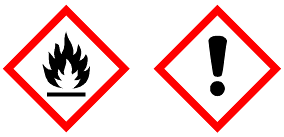
エアゾール製品

2. 危険有害性の要約

GHS 分類	:	エアゾール - 区分1 眼刺激性 - 区分2A 特定標的臓器毒性(単回ばく露) (麻酔作用) - 区分3 水生環境有害性　短期(急性) - 区分3 水生環境有害性　長期(慢性) - 区分3

GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル :



注意喚起語	:	危険
危険有害性情報	:	H222, H229 - 極めて可燃性又は引火性の高いエアゾール。高圧容器:熱すると破裂のおそれ。 H319 - 強い眼刺激。 H336 - 眠気又はめまいのおそれ。 H412 - 長期継続的影響によって水生生物に有害。

注意書き

概要	:	
安全対策	:	P280 - 保護眼鏡または保護面を着用すること。 P210 - 熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。禁煙。 P211 - 裸火又は他の着火源に噴霧しないこと。 P271 - 屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。 P273 - 環境への放出を避けること。 P261 - 粉塵又はミストの吸入を避けること。 P264 - 取扱い後はよく洗うこと。 P251 - 使用後を含め, 穴を開けたり 燃やしたりしないこと。
応急措置	:	P304 + P340, P312 - 吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し, 呼吸しやすい姿勢で休息させること。 気分が悪い時は医師に連絡すること。 P305 + P351 + P338 - 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 P337 + P313 - 眼の刺激が続く場合: 医師の診察または手当を受けること。
保管	:	P405 - 施錠して保管すること。 P410 + P412 - 日光から遮断すること。50℃以上の温度にばく露しないこと。 P403 + P233 - 換気の良い場所で保管すること。 容器を密閉しておくこと。
廃棄	:	P501 - 該当する法律に従って廃棄物を処分してください。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区分 : 混合物

化学名又は一般名	%	CAS 番号	官報公示整理番号	
			化審法	安衛法
butane	≥10 - ≤25	106-97-8	2-4	(2)-4
acetone	≥10 - ≤25	67-64-1	2-542	(2)-542
Solvent naphtha (petroleum), light arom.	≤10	64742-95-6	C005-106-94A	データなし
ethyl acetate	≤10	141-78-6	2-726	(2)-726
キシレン	5.5	1330-20-7	3-3; 3-60	(3)-3; (3)-60
Naphtha (petroleum), hydrotreated heavy	≤10	64742-48-9	C004-781-86A	データなし
zinc oxide	≤1.0	1314-13-2	1-561	(1)-561
nickel	<1.0	7440-02-0	C004-665-28A	データなし
methyl methacrylate	<1.0	80-62-6	2-1036	(2)-1036
n-butyl methacrylate	<1.0	97-88-1	2-1039	2-1039

4. 応急措置

吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 煙霧が残存している疑いがある場合、救助隊は適切なマスクあるいは自給式呼吸器を着用しなければならない。 呼吸していない場合、呼吸が不規則な場合、あるいは呼吸停止が起きた場合には、適切な訓練を受けた者が人工呼吸あるいは酸素吸入を行う。 救助者が口移し人工呼吸で蘇生術を行うと、救助者に危険がおよぶことがある。 医師の診断を受ける。 必要に応じて医師に連絡する。 意識がない場合、昏睡位(うつ伏せで顔をやや横向き)にして直ちに医師の診断を受けさせる。 気道を開いた状態に維持する。 襟、ネクタイ、ベルト、ウエストバンド等の衣類の締め付けをゆるめる。

皮膚に付着した場合 : 多量の水で、汚染された皮膚を洗浄する。 汚染された衣服および靴を脱がせる。 症状が現れたら、医師の診断を受ける。 衣類は、再着用の前に洗濯する。 靴は再使用前に十分に洗浄する。

眼に入った場合 : すぐに多量の水で、時々上下のまぶたを持ち上げながら眼をすすぐ。 コンタクトレンズの有無を確認し、着用している場合にははずす。 少なくとも10分間洗い流し続ける。 医師の診断を受ける。

飲み込んだ場合 : 水で口を洗浄する。 入歯をしている場合ははずす。 物質を飲み込んだ場合、被災者の意識があれば少量の水を飲ませる。 嘔吐すると危険なことがあるので、もし被災者の気分が悪くなったらそれ以上水を飲ませてはならない。 医師の指示がない限り、吐かせてはならない。 もし嘔吐が起きた場合は嘔吐物が肺に入らないように頭を低い位置に保つ。 医師の診断を受ける。 必要に応じて医師に連絡する。 意識がない場合、決して口からものを与えてはならない。 意識がない場合、昏睡位(うつ伏せで顔をやや横向き)にして直ちに医師の診断を受けさせる。 気道を開いた状態に維持する。 襟、ネクタイ、ベルト、ウエストバンド等の衣類の締め付けをゆるめる。

<u>最も重要な徴候及び症状</u>

<u>予想される急性健康影響</u>

吸入した場合 : 中枢神経機能低下を引き起こす可能性がある。 眠気又はめまいのおそれ。

眼に入った場合 : 強い眼刺激。

飲み込んだ場合 : 中枢神経機能低下を引き起こす可能性がある。

<u>過剰にばく露した場合の徴候症状</u>

吸入した場合 : 有害症状には以下の症状が含まれる:
気道の刺激
咳
吐き気または嘔吐
頭痛
眠気/疲労
浮動性のめまい／目眩
意識不明

眼に入った場合 : 有害症状には以下の症状が含まれる:
痛み及び刺激
流涙
充血

4. 応急措置

応急処置をする者の保護	:	人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。 煙霧が残存している疑いがある場合、救助隊は適切なマスクあるいは自給式呼吸器を着用しなければならない。 救助者が口移し人工呼吸で蘇生術を行うと、救助者に危険がおよぶことがある。
医師に対する特別な注意事項	:	症状に対応した対処療法を行うこと。 大量に摂取あるいは吸引した場合は、直ちに毒物治療の専門医に連絡する。

5. 火災時の措置

消火剤	:	火災に応じた消火剤を使用する。
使ってはならない消火剤	:	認知済みのものは無し。
特有の危険有害性	:	極めて可燃性又は引火性の高いエアゾール。 流出物が下水道に流れ込むと、火災や爆発を引き起こす危険性がある。 火災の際や加熱された場合、圧力の上昇が起こり、容器が破裂し、その結果爆発が起こるリスクがある。 ガスが下部または囲まれた場所に蓄積するか、あるいは相当な距離を移動して発火点まで移動してフラッシュバックを引き起こし、火災を引き起こすことがある。 エアゾール容器が破裂すると、火の中から高速で飛び出してくることがある。 本製品は水生生物に対して有害であり、長期にわたり持続する影響を有する。 本物質によって汚染された消火用水は封じ込める必要があり、水路、下水、または排水管に放出してはならない。
特有の消火方法	:	火災が発生したら、すみやかに火災現場から人員を退避させ現場を隔離する。 人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。 危険でなければ、火災現場から容器を移動させる。 ウォータースプレーを使用して火気にさらされた容器を冷温に保つ。
消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置	:	消火を行う者は適切な保護器具と、陽圧モードで動作するフルフェース部分を備えた自給式の呼吸器具を装着しなければならない。

6. 漏出時の措置

<u>人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置</u>

非緊急時対応要員について	:	人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。 周辺地域の人々を避難させる。 関係者以外ならびに保護用具を着用していない作業員の入室を禁じる。 エアゾールが破裂した場合、加圧された内容物および噴射剤が急速に放出されるので注意しなければならない。 容器が大量に破裂した場合は、物質の大量流出と同様に除去セクションの指示に従って処理する。 漏出した物質に触れたり、その上を歩いたりしてはならない。 全ての発火源を遮断する。 危険地域には、発火信号、煙草、火焔機器を持ち込まない。 蒸気や噴霧の吸入を避ける。 十分な換気を行う。 換気が不十分な場合は適切な呼吸用保護具を着用する。 適切な個人保護装置を着用する。
緊急時対応要員について	:	流出分の取り扱いに専用衣類が必要な場合には、適切および不適切な物質に関するセクション8に記載の情報に注意しなければならない。「緊急時要員以外の人員用」の情報も参照。
<u>環境に対する注意事項</u>	:	漏出した物質や流去水の拡散、および土壌、水路、排水溝下水道との接触を回避する。 製品が環境汚染（排水、水路、土壌または大気）を起したときは、関係する行政当局に報告する。 水質汚染物質である。 大量に放出されると環境に対して有害である可能性がある。

<u>封じ込め及び浄化の方法及び機材</u>

少量に流出した場合	:	危険性がなければ、漏れを止める。 漏出区域から容器を移動する。 火花を発生しない工具及び防爆型の装置を使用する。 水溶性なら水で希釈してぬぐい取る。 あるいは、または水に不溶性の場合、乾燥した不活性吸収剤に吸着させ、適切な廃棄物処理容器に入れる。 許可を受けた廃棄物処理業者に依頼して処分する。

7. 取扱い及び保管上の注意

<u>取扱い</u>

安全取扱注意事項	:	適切な個人保護具を使用すること（セクション8を参照）。 圧縮容器： 直射日光を避け、50°C以下に保つ。 使用後でも穿孔したり焼却してはならない。 摂取してはならない。 眼、皮膚および衣類に接触しないようにする。 ガスの吸入を避ける。 蒸気や噴霧の吸入を避ける。 環境への放出を避けること。 換気が十分な場所でのみ使用する。 換気が不十分な場合は適切な呼吸用保護具を着用する。 熱、火花、炎、その他の発火源から離れた場所で保管ならびに使用する。 防爆型の電気装置 (換気設備、照明用具、物質取扱い用具) を使用する。 火花を発生させない工具を使用すること。 容器が空でも製品の残留物が残存していて有害危険性がある。
衛生対策	:	本物質の取扱い、保管、作業を行う場所での 飲食および喫煙は厳禁。 作業者は飲食、喫煙の前に手を洗うこと。 飲食区域に入る前に汚染した衣類と保護具を脱ぐこと。 同様にセクション8の衛生措置に関する追加情報も参照。

<u>保管</u>

7. 取扱い及び保管上の注意

安全な保管条件 : 現地の法規制に従って保管する。 換気の良い乾燥した冷所で直射日光を避け、混合禁止物質（セクション10を参照）および飲食物から離して保存する。 施錠して保管すること。 あらゆる発火源を除去する。 環境汚染を避けるために適切な容器を使用する。 非相溶性材料については取扱いまたは使用の前にセクション10を参照のこと。

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策 : 換気が十分な場所でのみ使用する。 工程の隔離、局所排気通風装置あるいはその他の技術的管理設備を使用し、作業者が暴露される空気中の汚染物質濃度をあらゆる推奨あるいは法定暴露限界以下に保つ。 ガス、蒸気あるいは塵埃の濃度を暴露限界以下に保つためには技術的な管理も必要となる。 防爆型換気装置を使用する。

曝露限界

化学名又は一般名	暴露限界値
butane	**日本産業衛生学会 (日本、5/2019)。** OEL-M: 500 ppm 8 時間。 OEL-M: 1200 mg/m³ 8 時間。
acetone	**日本産業衛生学会 (日本、5/2020)。** OEL-M: 200 ppm 8 時間。 OEL-M: 470 mg/m³ 8 時間。 **安衛法 (日本、6/2020)。** 管理濃度: 500 ppm 8 時間。
ethyl acetate	**日本産業衛生学会 (日本、5/2020)。** OEL-M: 200 ppm 8 時間。 OEL-M: 720 mg/m³ 8 時間。 **安衛法 (日本、6/2020)。** 管理濃度: 200 ppm 8 時間。
キシレン	**安衛法 (日本、6/2020)。** 管理濃度: 50 ppm 8 時間。 **日本産業衛生学会 (日本、5/2020)。** OEL-M: 50 ppm 8 時間。 OEL-M: 217 mg/m³ 8 時間。
zinc oxide	**日本産業衛生学会 (日本、5/2019)。** OEL-M: 1 mg/m³ 8 時間。形状: 吸入性粉塵 OEL-M: 4 mg/m³ 8 時間。形状: 総 粉 塵
nickel	**日本産業衛生学会 (日本、5/2019)。皮膚感作物質。吸引感作物質。** OEL-M: 1 mg/m³ 8 時間。
methyl methacrylate	**日本産業衛生学会 (日本、5/2020)。皮膚感作物質。吸引感作物質。** OEL-M: 8.3 mg/m³ 8 時間。

保護具

呼吸用保護具 : 危険性と暴露の可能性に基づき、適切な基準または認証を満たすマスクを選択すること。 マスクは、呼吸保護プログラムに従って使用し、適切な付け心地、トレーニング、および使用上のその他の側面を確実にすること。 推奨 ： 有機ベーパー (タイプ AX) および粉塵フィルタ

手の保護具 : リスク評価によって必要とされるときは、化学製品の取り扱いの際、承認された基準に合格した耐化学品性で不浸透性の手袋を常に着用する。 手袋製造業者により特定されたパラメータを考慮して、手袋の使用中に手袋がまだ保護性を維持しているかを確認すること。 あらゆる手袋の材料は製造業者が異なれば透過時間も異なる可能性があることに注意する必要がある。 推奨 ： 1 ～ 4 時間 (破過時間): ニトリル ゴム 4 ～ 8 時間 (破過時間): Viton®/ブチルゴム

眼の保護具 : リスク評価によって必要とされるときは、液体の飛まつ、ミスト、ガスあるいは塵埃への暴露をさけるため、承認された基準に合格した安全眼鏡を着用する。 接触の可能性がある場合、評価によってより高次の保護が指摘されている場合を除いて次の保護具を着用しなければならない: 耐化学物質飛沫よけゴーグル。

皮膚及び身体の保護具 : 作業者の身体保護衣は、行う作業の内容および関連するリスクに基づいて選択しなければならず、さらにこの製品を取り扱う前に専門家の承認を受けなければならない。 静電気から引火する可能性がある場合には、帯電防止防護服を着用しなければならない。 静電放電から最大限に保護するためには、保護具に帯電防止オーバーオール、長靴および手袋が含まれていなければならない。

この製品を取り扱う前に、行う作業とそれに付随するリスクに基づき適切な履物および何らかの追加的な皮膚保護具を選択し、専門家の認可を受けなければならない。

9. 物理的及び化学的性質

外観

物理的状態 : エアロゾル。

色 : 銀色。

臭い : 溶剤. 甘い

pH : 入手可能な結果なし。

融点・凝固点 : -24°C (-11.2°F)

軟化点 : データなし

沸点、初留点と沸騰範囲 : データなし

引火点 : 密閉式: 該当しない

引火性 : 次の物質および条件の存在下で非常にに引火性: 裸火、火花、および放電。
次の物質および条件の存在下で引火性: heat。

爆発性／可燃性の下限と上限 : 下限: 1.5%
上限: 10.9%

蒸気圧 :

	20°Cの蒸気圧			50°Cの蒸気圧		
化学名又は一般名	mm Hg	kPa	方法	mm Hg	kPa	方法
プロパン	6300.51	840				
n－ブタン	1602.88	213.7				
アセトン	180.01	24				
酢酸エチル	81.59	10.9				
メタクリル酸メチル	27.75	3.7				
キシレン	6.7	0.89				
メタクリル酸ブチル	1.59	0.21	OECD 104			
Naphtha (petroleum), hydrotreated heavy	0.75 から 2.25	0.1 から 0.3				

相対的蒸気密度 : データなし

相対密度 : データなし

溶解度 : データなし

水混和性 : 該当せず。

n-オクタノール／水分配係数 : 該当しない

自然発火温度 : 該当しない

分解温度 : データなし

粘度 : データなし

粒子特性

中央粒径値 : 該当しない

その他のデータ

エアゾール製品

エアゾールの種類 : スプレー

燃焼点 : >200°C (>392°F)

燃焼熱 : 28.71 kJ/g

10. 安定性及び反応性

反応性 : この製品またはその成分に関しては、反応性に関する利用可能な具体的試験データはない。

化学的安定性 : 製品は安定である。

危険有害反応可能性 : 通常の貯蔵および使用条件下では、有害な反応は起こらない。

避けるべき条件 : いかなる発火源 (火花あるいは炎) にも近づけてはならない。

10. 安定性及び反応性

混触危険物質 ： 特にデータは無い。

危険有害な分解生成物 ： 通常の保管及び使用条件下では、危険な分解生成物は生成されない。

11. 有害性情報

急性毒性

製品 / 成分の名称	結果	種類	投与量	暴露時間
butane	LC50 吸入した場合 蒸気	ラット	658000 mg/m³	4 時間
acetone	LD50 経口	ラット	5800 mg/kg	–
Solvent naphtha (petroleum), light arom.	LD50 経口	ラット	8400 mg/kg	–
ethyl acetate	LD50 経口	ラット	5620 mg/kg	–
キシレン	LD50 経口	ラット	4300 mg/kg	–
Naphtha (petroleum), hydrotreated heavy	LC50 吸入した場合 蒸気	ラット	8500 mg/m³	4 時間
	LD50 経口	ラット	>6 g/kg	–
methyl methacrylate	LD50 経皮	ウサギ	>5 g/kg	–
	LD50 経口	ラット	7872 mg/kg	–
n-butyl methacrylate	LC50 吸入した場合 ガス	ラット	4910 ppm	4 時間
	LD50 経口	ラット	16 g/kg	–

急性毒性の推定

製品 / 成分の名称	経口 (mg/kg)	経皮 (mg/kg)	吸入 (ガス) (ppm)	吸入 (蒸気) (mg/l)	吸入 (ダストおよびミスト) (mg/l)
Stainless Steel Spray	78181.8	20000	N/A	200	N/A
butane	N/A	N/A	N/A	658	N/A
acetone	5800	N/A	N/A	N/A	N/A
Solvent naphtha (petroleum), light arom.	8400	N/A	N/A	N/A	N/A
ethyl acetate	5620	N/A	N/A	N/A	N/A
キシレン	4300	1100	N/A	11	N/A
methyl methacrylate	7872	N/A	N/A	N/A	N/A
n-butyl methacrylate	16000	N/A	N/A	N/A	N/A

経路	急性毒性推定値(ATE値)
経口	78181.82 mg/kg
経皮	20000 mg/kg
吸入 (蒸気)	200 mg/l

刺激性/腐食性

11. 有害性情報

製品 / 成分の名称	結果	種類	スコア	暴露時間	観察
acetone	眼 – 軽度の刺激	ヒト	–	186300 ppm	–
	眼 – 軽度の刺激	ウサギ	–	10 uL	–
	眼 – 中程度の刺激	ウサギ	–	24 時間 20 mg	–
	眼 – 強度の刺激	ウサギ	–	20 mg	–
	皮膚 – 軽度の刺激	ウサギ	–	24 時間 500 mg	–
	皮膚 – 軽度の刺激	ウサギ	–	395 mg	–
Solvent naphtha (petroleum), light arom.	眼 – 軽度の刺激	ウサギ	–	24 時間 100 uL	–
キシレン	眼 – 軽度の刺激	ウサギ	–	87 mg	–
	眼 – 強度の刺激	ウサギ	–	24 時間 5 mg	–
	皮膚 – 軽度の刺激	ラット	–	8 時間 60 uL	–
	皮膚 – 中程度の刺激	ウサギ	–	24 時間 500 mg	–
	皮膚 – 中程度の刺激	ウサギ	–	100 %	–
zinc oxide	眼 – 軽度の刺激	ウサギ	–	24 時間 500 mg	–
	皮膚 – 軽度の刺激	ウサギ	–	24 時間 500 mg	–
n-butyl methacrylate	皮膚 – 軽度の刺激	ウサギ	–	500 uL	–

呼吸器感作/皮膚感作

データなし

生殖細胞変異原性 (変異原性)

データなし

発がん性

データなし

生殖毒性

データなし

特定標的臓器毒性、単回ばく露

名称	ｶﾃｺﾞﾘ	暴露経路	標的器官
acetone	区分3	–	麻酔作用
Solvent naphtha (petroleum), light arom.	区分3	–	気道刺激性
	区分3		麻酔作用
ethyl acetate	区分3	–	麻酔作用
キシレン	区分3	–	気道刺激性
Naphtha (petroleum), hydrotreated heavy	区分3	–	麻酔作用
methyl methacrylate	区分3	–	気道刺激性
n-butyl methacrylate	区分3	–	気道刺激性

特定標的臓器毒性、反復ばく露

名称	ｶﾃｺﾞﾘ	暴露経路	標的器官
nickel	区分1	–	–

吸引性呼吸器有害性

名称	結果
Solvent naphtha (petroleum), light arom.	吸引性呼吸器有害性 – 区分1
キシレン	吸引性呼吸器有害性 – 区分1
Naphtha (petroleum), hydrotreated heavy	吸引性呼吸器有害性 – 区分1

12. 環境影響情報

生態毒性

12. 環境影響情報

製品 / 成分の名称	結果	種類	暴露時間
acetone	急性 EC50 20.565 mg/l 海水	藻類 - Ulva pertusa	96 時間
	急性 LC50 4.42589 ml/L 海水	甲殻類 - Acartia tonsa - コペポディド	48 時間
	急性 LC50 10000 µg/l 真水	ミジンコ類 - Daphnia magna	48 時間
	急性 LC50 5600 ppm 真水	魚類 - Poecilia reticulata	96 時間
	慢性 NOEC 4.95 mg/l 海水	藻類 - Ulva pertusa	96 時間
	慢性 NOEC 0.016 ml/L 真水	甲殻類 - Daphniidae	21 日
	慢性 NOEC 0.1 ml/L 真水	ミジンコ類 - Daphnia magna - 新生児	21 日
	慢性 NOEC 5 µg/l 海水	魚類 - Gasterosteus aculeatus - 幼虫	42 日
ethyl acetate	急性 EC50 2500000 µg/l 真水	藻類 - Selenastrum sp.	96 時間
	急性 LC50 750000 µg/l 真水	甲殻類 - Gammarus pulex	48 時間
	急性 LC50 154000 µg/l 真水	ミジンコ類 - Daphnia cucullata	48 時間
	急性 LC50 212500 µg/l 真水	魚類 - Heteropneustes fossilis	96 時間
	慢性 NOEC 2400 µg/l 真水	ミジンコ類 - Daphnia magna	21 日
	慢性 NOEC 75.6 mg/l 真水	魚類 - Pimephales promelas - 胚	32 日
キシレン	急性 EC50 90 mg/l 真水	甲殻類 - Cypris subglobosa	48 時間
	急性 LC50 13400 µg/l 真水	魚類 - Pimephales promelas	96 時間
zinc oxide	急性 IC50 1.85 mg/l 海水	藻類 - Skeletonema costatum	96 時間
	急性 IC50 46 µg/l 真水	藻類 - Pseudokirchneriella subcapitata - 指数増殖期	72 時間
	急性 LC50 98 µg/l 真水	ミジンコ類 - Daphnia magna - 新生児	48 時間
	急性 LC50 1.1 ppm 真水	魚類 - Oncorhynchus mykiss	96 時間
nickel	急性 EC50 2 ppm 海水	藻類 - Macrocystis pyrifera - 幼体	4 日
	急性 EC50 450 µg/l 真水	水生植物 - Lemna minor	4 日
	急性 EC50 1000 µg/l 海水	ミジンコ類 - Daphnia magna	48 時間
	急性 IC50 0.31 mg/l 海水	甲殻類 - Americamysis bahia - 幼若体(ひな鳥、孵化したての幼魚、離乳子畜)	48 時間
	急性 LC50 47.5 ng/L 真水	魚類 - Heteropneustes fossilis	96 時間
	慢性 NOEC 100 mg/l 海水	藻類 - Glenodinium halli	72 時間
	慢性 NOEC 3.5 µg/l 真水	魚類 - Cyprinus carpio	4 週
methyl methacrylate	急性 LC50 130000 µg/l 真水	魚類 - Pimephales promelas - 成体	96 時間
n-butyl methacrylate	慢性 NOEC 2.6 mg/l 真水	ミジンコ類 - Daphnia magna - 新生児	21 日

残留性・分解性

12. 環境影響情報

データなし

生体蓄積性

製品 / 成分の名称	$LogP_{ow}$	BCF	可能性
butane	2.89	–	低
acetone	−0.23	–	低
Solvent naphtha (petroleum), light arom.	–	10 から 2500	高
ethyl acetate	0.68	30	低
キシレン	3.12	8.1 から 25.9	低
Naphtha (petroleum), hydrotreated heavy	–	10 から 2500	高
zinc oxide	–	28960	高
methyl methacrylate	1.38	–	低
n-butyl methacrylate	2.99	–	低

土壌中の移動性 : データなし

オゾン層への有害性 : 該当しない

他の有害影響 : 重大な作用や危険有害性は知られていない。

13. 廃棄上の注意

廃棄方法 : 廃棄物の発生は避けるか、あるいは可能な限り少なくする必要がある。 この製品、製品の溶液およびあらゆる副生成物の処分は、常に環境保護および廃棄物処理に関する法律の定める要求事項、および現地法の定める要求事項に従わなければならない。 余剰またはリサイクルできない製品は許可を受けた廃棄物処理業者に依頼して処理する。 管轄当局の要件に完全に準拠しない限り、廃棄物を無処理で下水道に流してはならない。 不要な包装材料は再利用しなければならない。 焼却または埋め立ては、再利用が不可能な場合にのみ検討すべきである。 この材料およびその容器は安全な方法で廃棄しなければならない。 空の容器や中袋に製品が残留している可能性がある。 容器は、穴を開けたり、焼却したりしてはならない。

14. 輸送上の注意

	UN	IMDG	IATA
国連番号	UN1950	UN1950	UN1950
品名	AEROSOLS	AEROSOLS	Aerosols, flammable
国連分類 クラス	2.1	2.1	2.1
容器等級	–	–	–
環境有害性	該当せず。	該当せず。	該当せず。

追加情報

UN : **特別条項** 63, 190, 277, 327, 344, 381

IMDG : **緊急時スケジュール** F-D, S-U
特別条項 63, 190, 277, 327, 344, 381, 959

IATA : **数量制限** 旅客および貨物輸送機: 75 kg。梱包に関する指示: 203。 貨物専用輸送機: 150 kg。梱包に関する指示: 203。 数量制限ー旅客機: 30 kg。梱包に関する指示: Y203。
特別条項 A145, A167, A802

使用者のための特別な予防措置 : **使用者の施設内での輸送:** 直立型の安定した容器に入れて輸送する。本製品の輸送者が事故や漏出の際の対処法を理解していることを確認する。

14. 輸送上の注意

IMO機器によるばら積み運搬 : データなし

15. 適用法令

消防法

カテゴリ	物質名／種類	危険性区分	注意喚起語	指定数量
第二類	以下を含む物質: 金属粉。	データなし	データなし	データなし
第四類	以下を含む物質: 第一石油類	II	火気厳禁	200 L
		データなし	データなし	データなし
	以下を含む物質: 第二石油類	III	火気厳禁	1000 L

安衛法

名称等を表示すべき危険物及び有害物

化学名又は一般名	%	状況	政令番号
ブタン	≥10 – ≤25	該当	482
アセトン	≥10 – ≤25	該当	17
石油ナフサ	≤10	該当	330
酢酸エチル	≤10	該当	177
キシレン	≤10	該当	136

名称等を通知すべき危険物及び有害物

化学名又は一般名	%	状況	政令番号
ブタン	≥10 – ≤25	該当	482
アセトン	≥10 – ≤25	該当	17
石油ナフサ	≤10	該当	330
酢酸エチル	≤10	該当	177
キシレン	≤10	該当	136
酸化亜鉛	≤1.0	該当	188
ニッケル及びその化合物	≤1.0	該当	418
メタクリル酸メチル; メチル＝メタクリラート	<1.0	該当	557

有機溶剤中毒予防規則 : 第2種

化学物質審査規制法

化学名又は一般名	%	状況	政令番号
アセトン	≥10 – ≤25	優先評価化学物質	114
キシレン	≤9.3	優先評価化学物質	125

毒物及び劇物取締法

記載された成分なし。

化学物質排出把握管理促進法

化学名又は一般名	%	状況	政令番号
キシレン	5.5	第一種	80

日本産業衛生学会 発がん性物質 : 1類

16. その他の情報

履歴

印刷日 : **30.09.2021**

発行日/改訂版の日付 : 16.09.2021

前作成日 : 05.06.2020

バージョン : 1.01

16. その他の情報

略語の解説 : ATE = 急性毒性推定値
BCF = 生物濃縮係数
GHS = 化学品の分類および表示に関する世界調和システム
IATA = 国際航空輸送協会
IBC = 中型運搬容器
IMDG = 国際海上危険物
LogPow = オクタノール/水の分配係数の対数
MARPOL = 海洋汚染防止条約、1973年の船舶による汚染の防止のための国際条約に関する1978年の議定書。("Marpol" = 海洋汚染)
N/A = データなし
SGG = 隔離グループ
UN= 国際連合

分類を行うために使用する手順

分類	由来
エアゾール - 区分1	試験データに基づく
眼刺激性 - 区分2A	算出方法
特定標的臓器毒性(単回ばく露)(麻酔作用) - 区分3	算出方法
水生環境有害性　短期(急性) - 区分3	算出方法
水生環境有害性　長期(慢性) - 区分3	算出方法

参照 : データなし

前バージョンから変更された情報を指摘する。

注意事項

我々の知る限りにおいて、ここに記載した情報は正確です。しかしながら、上記の供給業者あるいはその子会社のいずれも、ここに記載した情報の正確さあるいは完全性に関していかなる責任も負うものではありません。製品の適合性については、ご使用各位の責任において決定してください。全ての物質は未知の危険有害性を含んでいる可能性があるため、取り扱いには細心の注意が必要です。ここには特定の危険有害性が記載されていますが、これらが存在する唯一の危険有害性であることが保証されているものではありません。